

新年度のご挨拶

代表 高島 勝

令和初めての年度挨拶であり、「さわやかな季節となり・・・」と言いたところですが、今年度は残念ながら新型コロナウイルス(COVID-19)の世界的な大感染が発生し、日本でも日々各地で感染が確認される昨今となりましたが、皆様健やかに過ごしのこととお喜び申し上げます。

さて、新型コロナウイルスの感染防止の観点から年度初めに計画していた活動を当面8月末まですべて中止と言う苦渋の決断をせざるを得ない状態になりました。

定時総会も「集会」と言う形式を取らず、「議案の書面表決」と言う方式を取らせていただきましたが、皆様のご承認をいただきありがとうございました。

早急に新型コロナウイルスの感染が終息

し、「楽しいボランティア活動」と「山と自然を愛する心」を持った集団として活動していけることを願っておりますので、今後とも皆様のご協力・ご支援・ご指導をよろしくお願い致します。

書面表決結果報告(4月30日締切)

- ・議案書送付数 91(会員84、家族会員7)
- ・回答数 80(会員73、家族会員7)
- ・結果(下表参照ください)



議案書	会員		家族会員	
	賛成	否決	賛成	否決
1号議案 2019年度活動報告	73	0	7	0
2号議案 2019年度決算報告	73	0	7	0
3号議案 2020年度活動計画	73	0	7	0
4号議案 2020年度予算	73	0	7	0
5号議案 2020年度連絡会	72	0	7	0

上記結果より「賛成」で可決と判断 *5号議案について1名未記入あり

2020(令和2)年度 連絡会

代表 高島勝
会の統括

名誉代表 三宅健治
会への大局的な見地から助言

監事 鬼木博文、西川一三
会計監査

副代表 吉田正成、西川一三
代表補佐

顧問 吉田博行、安藤和義、田口悦造
会への高度な専門情報の提供

参与 加藤敏男、法月俊雄、山口昭美、相羽清
会の活動等への助言

環境保全グループ
鳩吹山の自然保護を目的にした環境保全活動

リーダー: 吉田博行
サブリーダー: 佐藤正行、河合麗、下道国、田中巖、山田栄雄

パトロールボランティア活動グループ
鳩吹山の自然保護を目的にした登山マナーの啓発活動

リーダー: 古田圭式
サブリーダー: 吉田勝子、水野可律子、芦田典子、三宅冬樹

地域支援グループ
小学校等各種団体の鳩吹山登山に関する支援活動、可児市観光ボランティアガイド

リーダー: 柿元章吾
サブリーダー: 上野啓子

登山グループ
会員の健康づくりと親睦登山活動を通じた環境保全、登山マナーの醸成

リーダー: 山田栄雄
サブリーダー: 西川一三、吉田正成、大鋸忠雄、千賀徳子、岩井勲、井川恵子

自然保護グループ
年間を通して鳩吹山及びその周辺の植物の植生の保護活動

リーダー: 笹崎三雄
サブリーダー: 鬼木博文

事務局
会運営に係わる事務全般

事務長: 立石勝利
会計: 立石勝利
広報: 柿元章吾

3密(密接・密集・密閉)を回避し、新型コロナウイルスに打ち勝とう!

新型コロナウイルス(COVID-19)は2019年12月に中国武漢市で発生し、2020年に入ってから中国を皮切りに全世界に広がった感染症。

4月7日には非常事態宣言が発令され、不要不急の外出自粛が出ました。鳩吹山にも「登山自粛」要請が出、休憩舎の使用禁止処置も取られた。



ササユリ保護区の補修

3月26日（木） 9時半～11時半

環境保全グループ 山田栄雄

参加者は9人。3月下旬のこの時期は天気は快晴、風も無く快適な活動日となった。今回は保全道具の棚卸班と、ササユリ保護区Bのロープの補修班に分かれて作業した。

B区の保護ロープが壊れたので、竹竿への取り換え作業を行う。竹竿の固定には鉄釘や針金などは使わず、自然素材の竹釘を使っでの作業となった。登山時にご確認ください。保護区Aは昨年7月に竹竿を使って補修しているので、当面は大丈夫だと思われる。



作業の様子



竹釘・竹竿・杭



完成品

【これからの活動予定】 年度初めに計画した会活動は8月31日まですべて『中止』となりました。

誌上特別写真展

春の植物 笹崎三雄

いずれも3月～4月にかけて撮影したものです。春の鳩吹山の主役は、なんとと言ってもツツジですね。



ヤマツツジ



ヒカゲツツジ



ラショウモンカズラ

春の風景 芦田 典子

この春も、鳩吹山から素敵な風景を楽しむことが出来ました。



ニリンソウの群落



小天神の桜、木曽川を望む



冠雪の御岳山を望む